

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第41週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘(入院例)1 例、梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	男	肺結核	咳
		日向	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	O124(VT1)
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	菌血症
	水痘(入院例)	都城	80歳代	女	臨床診断例	発疹、免疫不全
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	初期硬結
			30歳代	男	無症状病原体保有者	—
小林	60歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は259人(定点当たり7.8)で、前週比89%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘と手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

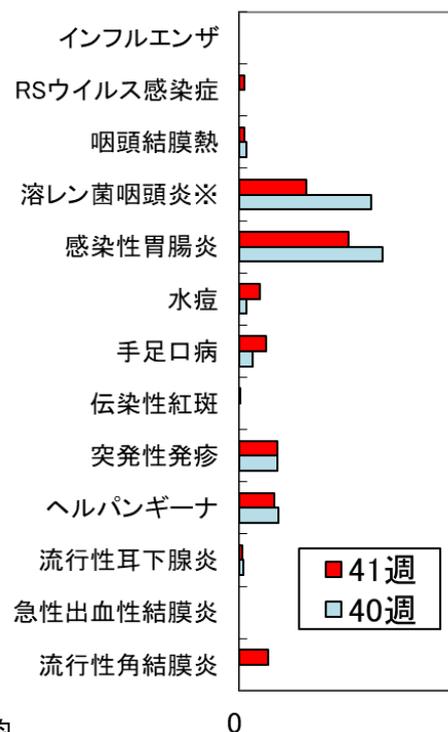
報告数は55人(1.5)で、前週比51%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)と同率であった。日南(4.0)、延岡(3.8)、宮崎市(1.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は2~4歳が全体の約4割を占めた。

【水痘】

報告数は17人(0.5)で、前週比275%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.4)の約1.2倍であった。日南、中央(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は5~6歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

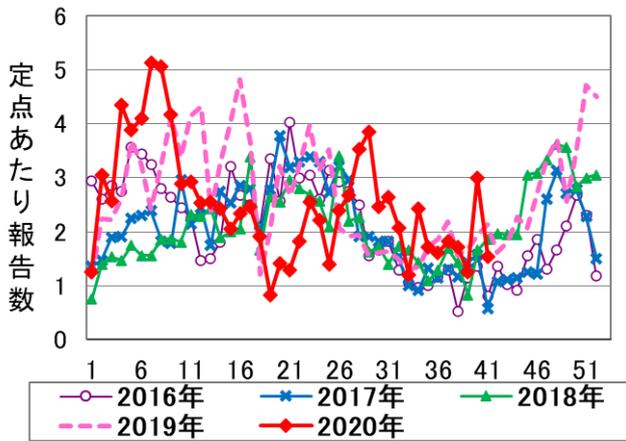
《前週との比較》



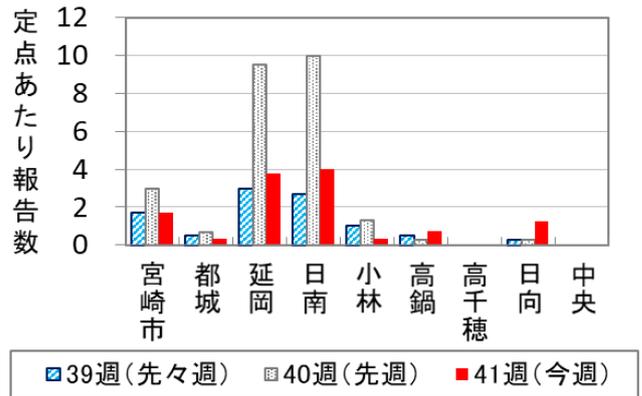
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

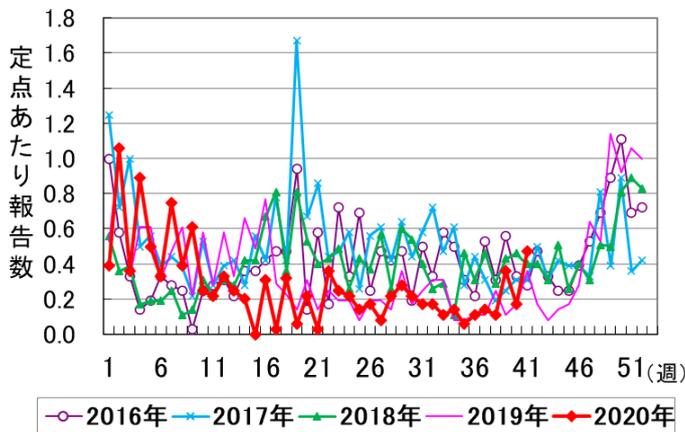
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



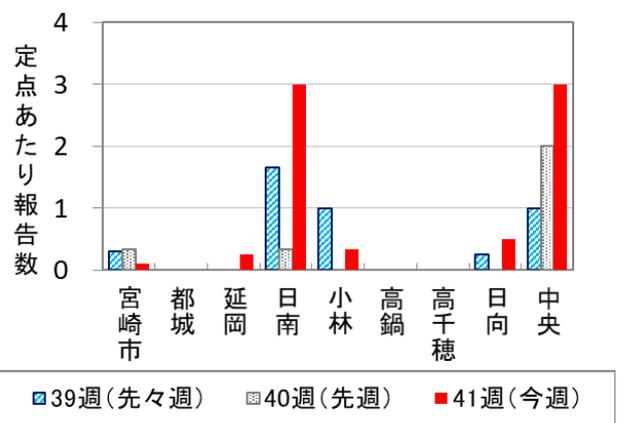
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



水痘 発生状況



水痘 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(3.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(3.0)

流行警報レベル開始基準値
・水痘(2)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年10月12日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O26:H11 VT1)	0～4歳	男	2020.7.25	胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.8.4
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	10歳代	男	2020.7.30	発熱(38.3℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2020.8.4
Salmonella Agona(O4:f.g.s:-)	5～9歳	女	2020.9.3	発熱(37.3℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.9.9
Salmonella Alachua(O35:Z4:Z23:-)	80歳代	女	2020.9.19	発熱(38.5℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.9.25

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2020 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 40 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	296 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	114 例		
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	デング熱	1 例	日本紅斑熱	31 例	日本脳炎	2 例
	ブルセラ症	1 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	41 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	13 例	水痘(入院例)	2 例	梅毒	68 例
	破傷風	5 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	18 例
	麻疹	1 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 125%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な特になかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は2,216人(0.7)で前週比146%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約0.5倍であった。宮崎県(3.0)、福岡県(2.1)、長崎県(1.7)からの報告が多く、年齢群別では4歳から6歳が全体の約3割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は831人(0.3)で前週比130%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.6)の約0.4倍であった。山形県(1.7)、山口県(1.5)、岡山県(1.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年9月>

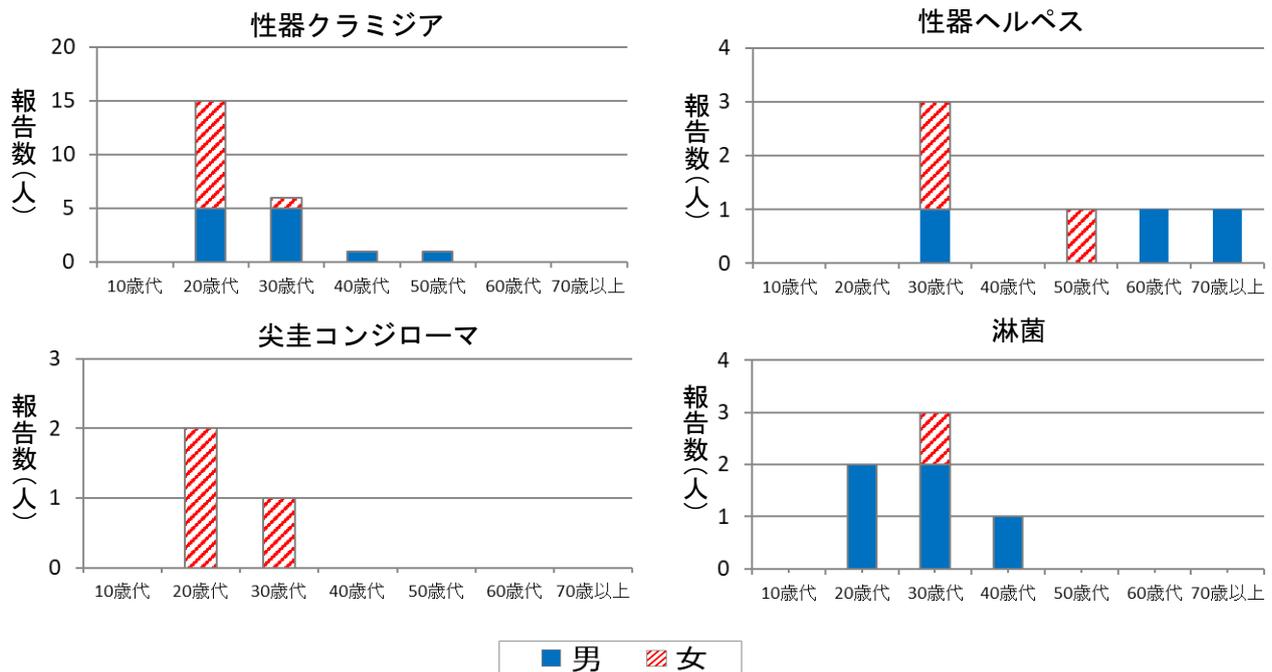
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年9月(2.2)の131%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月の約1.2倍、昨年9月の約1.4倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性12人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の0.5倍、昨年9月の約0.9倍であった。
(男性3人・女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍であった(昨年9月は報告なし)。(女性3人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で前月の1.5倍、昨年9月と同じであった。(男性5人、女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,463人(4.6)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,416人(2.5)で前月比100%、性器ヘルペスウイルス感染症763人(0.78)で前月比99%、尖圭コンジローマ517人(0.53)で前月比113%、淋菌感染症767人(0.79)で前月比103%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人(3.3)で、前月比115%と増加した。また、昨年9月(2.6)の128%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数22人(3.1)で、前月の約1.1倍、昨年9月の約1.2倍であった。60歳以上が全体の約5割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、年齢は0～4歳であった。
(前月及び昨年9月の報告なし。)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,282人(2.7)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,233人(2.6)で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症43人(0.09)で前月比113%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第41週(10月05日～10月11日)

疾病名	第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	4	4								
感染症	定点当り	0.00	0.11	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	6	4	3				1			
A群溶血性	報告数	105	55	17	2	15	12	1	3	5	
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	3.00	1.53	1.70	0.33	3.75	4.00	0.33	0.75	0.00	1.25
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	114	89	20	18	2	15	7	8	1	15
		3.26	2.47	2.00	3.00	0.50	5.00	2.33	2.00	1.00	3.75
水痘	報告数 定点当り	6	17	1		1	9	1		2	3
		0.17	0.47	0.10	0.00	0.25	3.00	0.33	0.00	0.00	0.50
手足口病	報告数 定点当り	11	22	10	9			1	1		1
		0.31	0.61	1.00	1.50	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数 定点当り		1						1		
		0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	30	31	5	9	4	4	1	4	3	1
		0.86	0.86	0.50	1.50	1.00	1.33	0.33	1.00	0.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	31	29	14	7	1			1	1	5
		0.89	0.81	1.40	1.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	3	3	1	1		1				
		0.09	0.08	0.10	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り										
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数 定点当り		4	3		1					
		0.00	0.67	1.00	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り										
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り										
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数 定点当り										
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数 定点当り										
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 定点当り										
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～41週)

2類感染症	結核	126例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	12例
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	水痘(入院例)	8例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	破傷風	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	365例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例(1)
			梅毒	21例(3)
			百日咳	37例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲